

交通安全通信

■問合せ 総務課防災安全室 ☎ 47-8016



南越前町交通指導員

歩くときも自転車に乗るときも
車を運転するときも、気をゆるめずに、
しっかり安全確認を！

『車は止まってくれる』『いつもの慣れている道だから大丈夫』と思っても、運転者が気付いているとは限らないわ。それに『いつも安全運転。運転には自信がある』なんて過信しないで。

視力、聴力、判断力、筋力…身体は変化しているのよ。
油断大敵よ！

『**高齢者の交通事故が多い**』って聞くけど、
そうそう事故に合うはずはないよ。年を重ねただけ無茶はしないし、高齢者は周りに気配りされて守ってもらえてるんだ。仕事もできているし、まだまだ心配ないさ。



歩行者を交通事故から守る **ドライバー実践3対策**

① 危険を予測して『**かもしれない運転**』！

自転車や人が急に道路を横断するかもしれない、飛び出してくるかもしれないなど危険状況を予測して運転しましょう。

② 『**やさしい視線で**』見守ろう！

交通環境が変わっても、過去の記憶の習慣や感覚で道路を横断してしまう高齢歩行者や予期しない行動をする子供を見守る気持ちで運転しましょう。

③ 『**夕暮れから夜間、早朝**』は注意して運転！

歩行者は『車はライトをつけているから、見えているだろう』とっていたり、車の距離や速度を見誤っている場合があります。運転者が帰宅を急ぐ気持ちも歩行者を見落とす一因になります。上向きライトを活用し、速度を抑えて注意して運転しましょう。



ウォーキングもジョギングも
反射材をつけて、
明るい色の服を着て
自分の存在をアピール！

ブレーキを踏んで
車が止まるまで3秒
60km/hの場合
約50m進む

